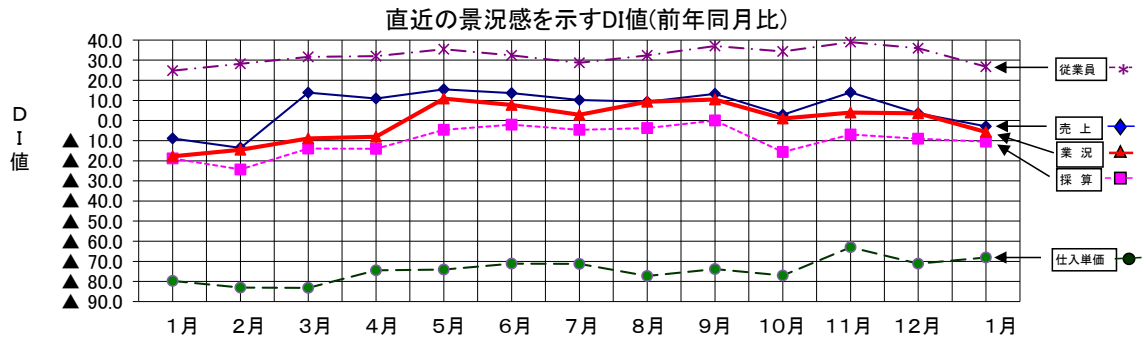


早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 1月分

【1月の概要】景況感を示すDI値は能登半島地震による影響を懸念する声もあり悪化傾向、ただし先行き見通しは改善を示す

直近の景況感を示すDI値は、「売上」が2か月連続で悪化し、昨年2月以来、11か月ぶりにマイナス水準に転じた。「業況」でも前月比▲9.3ポイントと大幅に悪化しており、昨年4月以来、9か月ぶりにマイナス水準に転じた。一方、先行き見通しを示すDI値は、全ての項目で改善。なかでも「売上」「採算」「業況」の3項目で2ケタの大幅な改善を示している。

コメントでは、能登半島地震に関するコメントが多く寄せられ、当所管内における大規模な被害は少ないものの、経済活動に様々な影響が生じていることが窺える。また、引き続き、人件費や燃料費等、経費の高騰に苦しむ声もあるが、先行き見通しの結果からは改善の動きも読み取れる。地震被災地の一刻も早い復旧が切に望まれる。



【直近の景況感を示すDI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)－(悪い割合) ※従業員=(不足)－(過剰)
(Diffusion Index の略)

	2023年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月
売上	▲ 8.9	▲ 13.6	13.9	11.0	15.5	13.7	10.2	9.3	13.3	2.9	14.0	3.6	▲ 2.9
採算	▲ 18.8	▲ 24.3	▲ 13.9	▲ 14.0	▲ 4.6	▲ 2.0	▲ 4.6	▲ 3.7	0.0	▲ 15.7	▲ 7.0	▲ 9.0	▲ 10.5
業況	▲ 17.8	▲ 14.6	▲ 8.9	▲ 8.0	10.9	7.8	2.8	9.3	10.5	1.0	4.0	3.6	▲ 5.7
仕入単価	▲ 79.7	▲ 83.0	▲ 83.2	▲ 74.5	▲ 74.1	▲ 71.1	▲ 71.3	▲ 77.3	▲ 73.8	▲ 77.0	▲ 63.0	▲ 71.2	▲ 68.1
従業員	24.8	28.2	31.7	32.0	35.5	32.4	28.7	32.4	37.1	34.3	39.0	36.0	26.7

- ・マイナス幅が減少したDI値：仕入単価3.1ポイント
- ・プラス幅が減少したDI値：従業員▲9.3ポイント（需給均衡局面へ）
- ・マイナス幅が増加したDI値：採算▲1.5ポイント
- ・プラスからマイナスに転じたDI値：売上▲6.5ポイント、業況▲9.3ポイント

【向こう3か月間の先行き見通しを示すDI】

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
11月	19.0	▲ 2.0	2.0	▲ 35.0	35.0
12月	▲ 2.7	▲ 9.0	▲ 6.3	▲ 40.5	36.0
1月	10.5	1.9	5.7	▲ 38.1	33.3

- ・見通しが改善したDI値：売上13.2ポイント、採算10.9ポイント、業況12.0ポイント、仕入単価2.4ポイント、従業員▲2.7ポイント（需給均衡局面へ）

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	管工事	補助金無しで設備投資をしても、それに見合う収益を出すことが難しい。
	設備工事	能登半島地震の復旧作業のため元日から出勤している。従業員への休日・夜間手当の支払いが大きく増加する。
製造業	製菓	燃料代や人件費、輸入原材料等の経費が膨らむが、最低限の価格転嫁しかできず利益面で厳しい状態が続く。
	鋼材	地震の影響により、公共設備整備予定地へ向かう道路等が被害を受けたため施工が難しい状況にある。
卸売業	青果	例年1月は大きな売上が見込めないが、今年は地震の影響による自粛ムードで、さらなる売上減少が懸念される。
小売業	ホームセンター	地震からの復旧作業が進むにつれ、住宅関連・リフォーム等のニーズが拡大していくものと予想している。
	百貨店	地震の影響でコンビニのおにぎり・弁当・パン関連で供給難が生じ、スーパーでは食品中心に売上増となった。
サービス業	運輸	地震で被災地への道路網が寸断され、集配業務に支障が出ている。復旧には相当の時間がかかると思われる。
	ホテル	地震により、予約のキャンセルが出ている。今後も良い兆しが見えない。
	看板	地震での自粛ムードで消費活動が減退しないことを願う。